

ふれあい

第64号(平成30年3月31日)
 阿品台コミュニティ事務局(TEL39-4338)
 阿品台地区人口・世帯数(平成30年2月1日現在)
 人口 7,711人(34人減) 男3,509人 女4,202人
 世帯数 3,355世帯(1世帯増)・高齢化率 36.2%(0.6%増)
 ()内の数値は平成29年10月1日との比較

新しく生れ変わります。 「暮らしと学びの森(阿品アカデミー)」

長年にわたって阿品台の皆さんと共に活動して来た「阿品アカデミー」が、4月から「暮らしと学びの森(阿品アカデミー)」として新生することになりました。そこでアカデミー事務局長の田邊肅郎氏に“新生「暮らしと学びの森(阿品アカデミー)」立ち上げの経緯と今後の抱負そして今まで16年間の活動の成果”を伺って参りました。

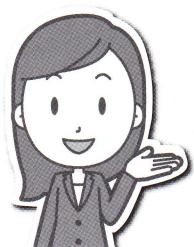
「暮らしと学びの森(阿品アカデミー)」立ち上げの経緯と目的は何ですか」

住民による、住民のための生涯学習の場として、阿品アカデミーは平成13年より16年間、阿品台市民センターで活動してまいりましたが、永年の活動により関係者の高齢化もあり、マンネリ化が目立ってまいりました。そこで、このたび市民センターの改修工事で講座を開催しづらくなった期間を利用して、組織と講座の内容を時代に合ったものに一新してこの4月から「暮らしと学びの森(阿品アカデミー)」として再出発することにしました。多くの皆様のご支持をいただければと期待しております。企画、運営にあたってきた事務局員を男性陣から女性主体に、またその平均年齢は30歳近く若返り、今までとは相当に違った視点での講座となります。これまでアカデミックなものが主体だった内容をより日常の暮らしに直結した講座を主とする予定です。但し、従来型の講座に関心をお持ちの方もおられることから、「暮らし科」と「学び科」の科目を並行させます。現在新旧事務局が共同で企画中であり、ご期待にそえる講座とすべく頑張っております。なんとか、多くの地域の皆様のご期待に応えられる講座にしたいものです。



新しい事務局のメンバー

「今後の抱負はいかがですか」



「暮らしと学びの森」の目的そのものは従来と変わりません。あくまでも住民による住民のための生涯学習の場を提供し、住民同士のふれあいの場を広げることです。ただ、今までと違ってより日常の暮らしに近いことも学ぼうということと、参加して下さる住民の年齢層や女性の参加を増やしたいのがこの改変の主たる目的です。事務局の若返りによって、どんな講座にしようかという相談でも、今までは思いもしなかった内容のものが実現しつつあります。特に女性の視点からの講座も種々考えられています。参加して下さる人の輪が広がれば広がる程、希望される講座内容も広がるものと思います。それらのご希望の講座も順次取り入れてゆくことによって、改変後の講座も末永く続いてゆくことを期待しています。・・・一旦発足した組織はその日から新鮮味が薄れてゆきます。次々に新しい人が参加して下さることで長く続けることができ、聴講して下さる人も事務局へ入って運営して下さる方も、どんどん手を挙げて頂くことを望んでいます。・・・

「16年間の活動成果はいかがでしたか」

第1回の講座は平成13年7月 試験的講座として実施した山下先生による「しなやかで、したたかな国 タイ」と題するアジア講座でした。そしてその年の9月に竹下虎之助元広島県知事を会長に就任していただいて正式に発足し、「アジア」、「環境」、「自然」、「宮島学」、「原子力」、「文化・文芸」、「生活科学」、「政治経済」、「歴史」、「法律」、「健康」、「国際理解」、「芸術」等多方面にわたる講座を主として町内にお住いの専門家による講座、会員の自主研究の報告、また、「市役所の出前講座」等多くの外部団体をお願いしての講座などなど合計470回を超える講座が開催できました。それぞれの講座を快くお引き受けいただいた方々に感謝しております。また、これらの講座をもとに市民センターのクラブとして発足した「中国古典を読む会」も月に2回づつ既に10年目に入っております。山根三芳先生には感謝あるのみです。「論語」「大学」「中庸」「老子」と読み進み、現在は「菜根譚」を読破中です。こちらもどなたでも参加できますのでどうぞ。これも含めれば16年間で延べ1万3千人を超える方々が、いろいろな勉強をされました。それぞれが楽しい講座でしたが、2・3紹介します。



竹下前会長の講演風景

人が生まれるとき、死ぬときに起きる様々な問題(人口受精、遺伝子操作、延命処置、安楽死など)生命倫理についての金沢先生の問題提起に考えさせられました。

一方、植物講座に触発されて行った阿品台の各公園に植わっている樹木、街路樹の樹名を調べて樹名板を取り付けた際には、町内の子供から大人まで多くの人達の協力を得て、樹名の調査、樹名板への書き込み、取り付け作業を半年掛かりで行いました。

全体としては専門性の高い講座が多かったのですが、宮島水族館をお願いしてペンギンを2羽連れて来ていただいて、ペンギンについてのお話を聞いた後市民センターで触れ合った講座、小さいお子さんたち、つられて大人たちも大喜びでした。

また、天文講座では先生の天体や宇宙に関する様々な講座が開けました。また、ここ10年間、年に1回開催している夏休みの天体観望会は、いつも多くの親子が参加してくれています。



夏の夜空を楽しむ人々

天気の関係で星が全く見えない年もよくありますが、逆にしっかり見えた年は皆大興奮状態です。5～6台の望遠鏡を連ねての観望会ですが、事務局としては晴れることを願っていつもハラハラしています。大人の方も土星の輪や木星の衛星を自分の目で見るのは初めてという方も多く、大喜びです。

原子力文化振興財団をお願いした原子力講座。福島事故の前の平成16年と事故後の平成24年の2回、それぞれ5～6回の講座でした。16年の時にはその有利性を強調した講座でしたが、24年の時には事故が前提の講座であり、各先生も相当の覚悟をもって来ていただいたわけですが、それでもわれわれの質問、特に反原発の急先鋒の方々の質問には激しいやりとりもあり、議長役の事務局は慣れない事でもあって困惑しましたが、しっかり勉強させてもらいました。

「どうもありがとうございました。阿品台コミュニティは「暮らしと学びの森(阿品アカデミー)」の活動を今まで通り応援していきたいと思います。」

・・・この3月から「暮らしと学びの森(阿品アカデミー)」のホームページを立ち上げました。毎月の講座案内をする予定ですのでご利用下さい。またホームページのアーカイブにはこれまでの講座資料を掲載しておりますのでご利用下さい。・・・

平成29年度 コミュニティの後期事業

平成 29 年度 阿品台地区自主防災訓練

平成 29 年 12 月 3 日 (日) 8:15 ~ 11:30 阿品台東小学校体育館で実施されました。例年より遅い時期の開催だった事もあり、寒かったのですが、快晴に恵まれ無事開催されました。

参加人数は、来賓・消防士・関係者含め約 350 名でした。

- ①人工呼吸蘇生体験
- ②ロープの結び方
- ③煙体験・消火訓練
- ④実災害の DVD 視聴体験
- ⑤炊き出し訓練

が行われました。今年の消火訓練は、プロパンガスの

訓練用の機器を使って、実際の火を使った訓練でしたので現実味を体得できるものでした。



平成 29 年度 阿品台敬老会

10 月 29 日 (日)、今年は阿品台公民館が工事中の為、「光の園」で阿品台敬老会が開催されました。台風接近の為、あいにくの雨模様の、今年は長寿のお祝いと云う事で、喜寿(77 歳)、傘寿(80 歳)、米寿(88 歳)、卒寿(90 歳)、白寿(99 歳)以上の方をお迎えして開催されました。阿品台東保育園の園児たちの歌と踊り、葡萄亭わいんさんの落語を楽しみました。



阿品台二丁目とんど祭り

阿品台二丁目町内会主催、今年で 34 回目の開催となるとんど祭りが、同町内の集会所と第 2 公園を利用して 1 月 7 日 (日) 10 時 30 分ぜんざいの振る舞いから始まりました。その間、地元の方のコーディオン演奏、クライマックスは 12 時から今年の年男・年女のみなさんによりとんどに点火。無病息災と幸運を祈りました。



青少年・体育部

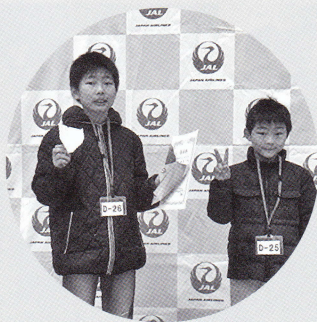
第 2 回紙ヒコーキ大会

吹く風がめっきり冷たくなった 11 月 19 日 (日)、9 時 30 分より阿品台東小学校体育館で紙ヒコーキ大会が開催されました。当日参加者を含め子供 22 名、大人 15 名、総勢 37 名、競技種目の飛行距離と滞空時間で競い合いました。

JAL 折り紙ヒコーキ全国大会中国地区予選会

折り紙ヒコーキ協会主催で「JAL 折り紙ヒコーキ全国大会中国地区予選会」が 2 月 18 日 (日) 広島工業大学体育館で開催されました。小学生以下の部から 86 名が参加、阿品台東小学校在学で 5 年生の兄、森誉くん(写真左側)が 2 位、弟で 1 年生の響君も 5 位と兄弟揃って健闘しました。

全国大会出場は優勝者のみで、誉君は 1 歩及びませんでした。将来がとても楽しみです。



「火の用心」夜回りパトロール

12月9日(土)午後6時から阿品台地区「火の用心」夜回りパトロールが行われました。コースは①一丁目・二丁目コース、②四丁目・五丁目コース、③五丁目上・グランドヒルズコース、④阿品台北コース、⑤山の手・県営住宅コースと5つのグループに分かれ、小学生45名を含め総勢108名が区域内をパトロール車と共に巡回しました。例年になく寒い日になりましたが、約1時間のパトロールを終えた子供たちには主催者からご褒美が渡されました。



文化・女性部

秋の日帰り研修旅行

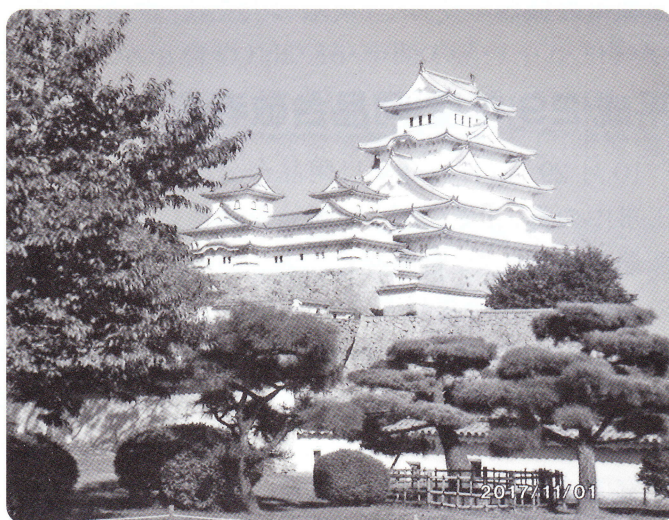
世界文化遺産の国宝姫路城を巡る旅

○日 時：11月1日(水)8:00～20:00

○参加者 88名

姫路城は日本で現存する最大の城郭建設で巧妙な縄張りや多様な石垣、連立する大天守、渡櫓、門、狭間、瓦などのすべてに日本の城の魅力が凝縮されています。

平成27年3月27日には大天守保存修理を終え、白鷺の天守閣が蘇えり姫路城の特徴である白漆喰総塗籠の輝く真っ白な姿を見せています。城内は戦いへの知恵を秘めた美しい仕掛けが多く見られ、まるで迷路のように入り組んだ作りにもなっており、攻撃を防ぐ設備が随所に見られます。また、「にの門」の破風上には、十字紋瓦が残りギリシタンだった黒田官兵衛にゆかりがあるとも言われており、400年を超える歴史とスケールの大きさに一同感激の研修となりました。



ドライフラワー

アレンジメント講習会

11月28日(火)13:30～15:30 阿品台市民センターで吉和のミントハウスの酒井先生の指導のもと「ドライフラワーアレンジメント講習会」が開催されました。当日の参加定員は15名のところでしたが18名の参加があり、素敵なアレンジメントフラワーのクリスマス飾りが出来上がりました。



しめ縄作り講座

12月25日(月)13:30 阿品台市民センターにて、年末恒例のしめ縄作りの講座が実施されました。折本善政先生、俊子先生、小西好枝先生の3名の実技指導の下、19名の参加者が楽しく和気あいあいとしめ縄作りを行いました。約2時間半の格闘の末、参加費だけでの購入は難しいゴージャスなしめ縄が完成し、全員が満足できる体験が出来ました。

